



ねむっている人はどうして重いひと おもいの

重いおもと感じるだけかん

ねむっているとき、起きているときで、人間の体重にんげん たいじゅう かは変わりません。ですから、ねむっている人を重いひと おも おもと思うのは、重くおも かん感じるだけなのです。

重いおもと感じるのはかん

小さな子どもをだき上げる場合ちい こ、子どもが起きているときには、子どもの体こ からだは、子ども自身こ じしんが、体を曲げたり、縮めたり、向きを変えたりして、自然しぜんに、だかれやすい状態じょうたいになりますし、しがみついたりするため、だきよくなります。また、こうなることによって、だかれている子どもの体こ からだが、だいている人の体ひと からだにふれている部分ぶぶんが多くなり、子どもの体重たいじゅうは、だいている人のうでだけでなく、体のほかの部分ぶぶんでも受け止めることになります。

しかし、だかれている子どもがねてしまうと、全身ぜんしんの力がぬけて、子ども自身のだかれやすくなるとうする動きうごもなくなるため、子どもの体重たいじゅうは、だいている人のうでだけにかかることになります。そのため、だき上げにくく、ねているときのほうが重くおも かん感じるので、す。（監修・保志 宏）

